

K O D A K E O

有田焼創業四〇〇年記念イベント

古武雄

武雄のやきもの再発見

平成28年

10月15日[土]

9:00-21:00 12月11日[日]

武雄市図書館・歴史資料館

蘭学・企画展示室 〒843-0622 佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304-1
TEL.0954-28-9105



会期中無休

●講演会 13:30~

10月30日[日] 講師 久野 哲矢氏 (佐賀県立名護屋城博物館 学芸員)

「文禄・慶長の役、そして古武雄の誕生へ」

●ギャラリートーク 13:30~

11月6日[日] 東中川 忠美氏 (元佐賀県立名護屋城博物館 館長)

11月23日[祝] 大橋 康二氏 (佐賀県立九州陶磁文化館 名誉顧問)

12月4日[日] 鈴田 由紀夫氏 (佐賀県立九州陶磁文化館 館長)

主催 | 武雄市図書館・歴史資料館 協力 | 古武雄再発見プロジェクト会議
後援 | 佐賀新聞社・西日本新聞社・朝日新聞社・読売新聞西部本社・毎日新聞社
株式会社ケーブルワン・NHK佐賀放送局・サカテレビ・NBCラジオ佐賀

鉄絵師 杉本竹庵文大筆 / 打毛 堀毛百花文大平筆 (個人蔵)
写真提供 | 九州国立博物館 | 伊藤隆彰 | 山崎尊一氏

有田焼創業400年記念イベント

古武雄

武雄のやきもの再発見



藤津郡武雄町南大字野村北大字野村(陶白小屋部分)

樽輪大甕(寛永17年) 樽
(佐賀県立九州陶磁文化館)

小田志村、尾本村之間(登り宮部分)



打ち刷毛目花文大平鉢(個人蔵)
写真提供:九州国立博物館 写真撮影:山崎信一氏



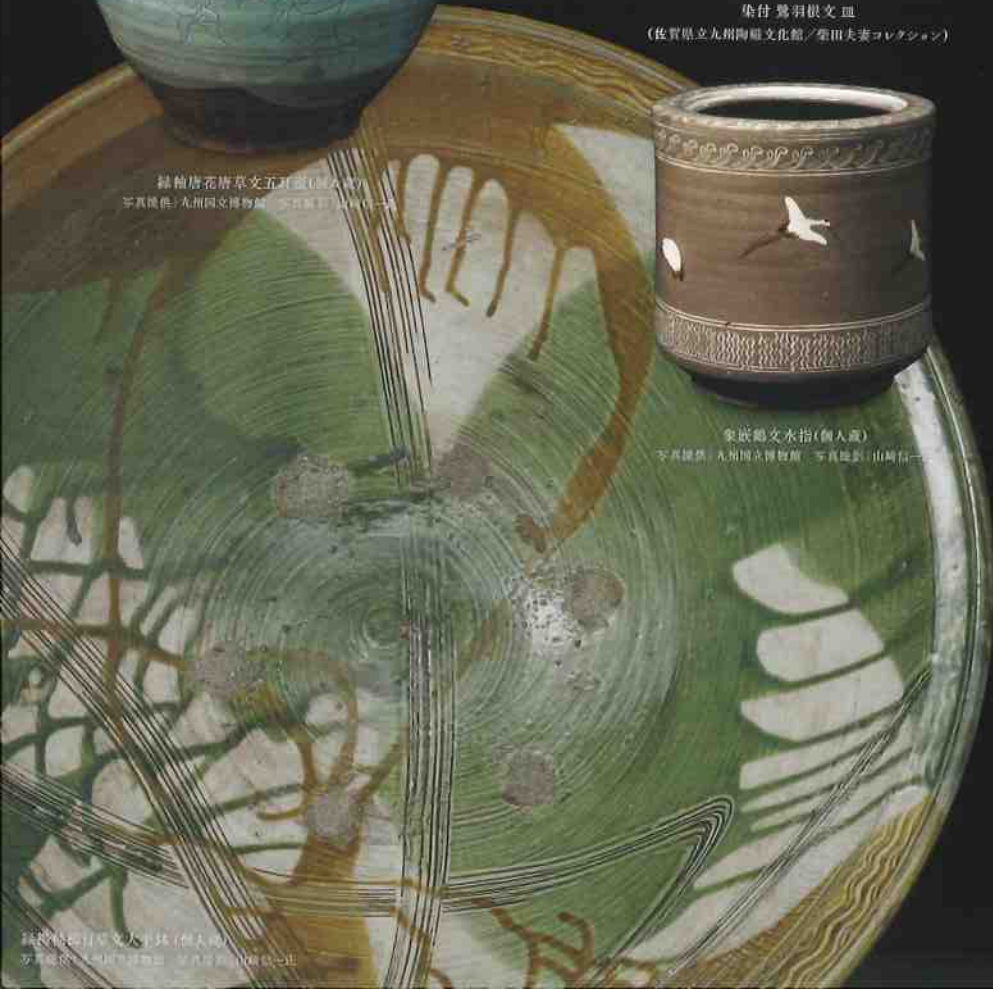
染付鶯羽根文皿
(佐賀県立九州陶磁文化館/菊田夫妻コレクション)



緑釉唐花唐草文五耳甕(個人蔵)
写真提供:九州国立博物館 写真撮影:山崎信一氏



象嵌鶴文水指(個人蔵)
写真提供:九州国立博物館 写真撮影:山崎信一氏



緑釉刷毛目花文大平鉢(個人蔵)
写真提供:九州国立博物館 写真撮影:山崎信一氏

KODAKEO

武雄地方で産業としてやきものが製作されるようになるのは、文禄・慶長の役の際、武雄領主が連れ帰った朝鮮陶工が窯を開いてからのことで、400年以上も前の事です。現在市内には90カ所の窯跡があり、全国でも有数の集密度を誇ります。

武雄地方で焼かれていたやきものは、近年までは《武雄古唐津》と称され、唐津焼の一分野と位置付けられていました。しかしながら、意匠や技法に、それだけにはとまらない独自性があることが見直され、《古武雄》と言う呼び名が知られるようになってきました。

今回、有田焼創業400年記念事業の一環として、また《古武雄》の魅力と意義を見出す「古武雄再発見プロジェクト事業」を進める足掛かりの一つとして、展覧会を実施します。

武雄市図書館 歴史資料館

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304-1
TEL.0954-28-9105 FAX.0954-28-9205
<http://www.city.takeo.lg.jp/rekisi/his-top.html>
E-mail | epochal@city.takeo.lg.jp

